

Instruction Manual

取扱説明書

平棚／パイプ棚／吊下棚

- このたびは、製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描かれています。

Index

安全上のご注意	1
お使いになる前に	2
表面保護フィルムについて	2
各部の名前	2
構成パーツと標準付属品	2
平棚の組み立てかた（上吊り）	3
平棚の組み立てかた（下支え）	4
平棚の取り付けかた	5
パイプ棚の組み立てかた（上吊り）	6
パイプ棚の組み立てかた（下支え）	7
パイプ棚の取り付けかた	8
吊下棚の組み立てかた（平棚）	9
吊下棚の組み立てかた（パイプ棚）	10
吊下棚の取り付けかた	11
耐荷重について	12

⚠ 警告	
	●製品の上に乗らないこと ケガの原因になります。 上乗り禁止
⚠ 注意	
	●棚に物を載せ過ぎないこと 耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。 （12ページの「耐荷重について」参照） 過積載禁止
	●不当な改造をしないこと 不当な改造や指定以外の部品使用は、製品破損等によるケガの原因になります。 改造禁止
	●高温、低温になる物のそばに設置しないこと やけどや凍傷、樹脂部品の変形・損傷の原因になります。 高温低温禁止
	●設置工事はお買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で設置工事をされ不備があると、製品の転倒や落下などの原因になります。 専門業者
	●組立、設置、清掃の時には必ず軍手を着用すること 素手で作業をすると、ケガの原因になります。 軍手着用
	●設置面が丈夫で平らな所に、棚面が水平になるように設置すること 傾いていると収納物が落下して、ケガの原因になります。 水平に設置

お使いになる前に

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様などがご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないかご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したりしないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてください。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにしてください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

表面保護フィルムについて

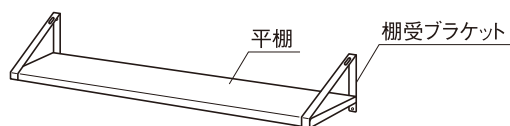
- 製品の表面には、「表面保護フィルム（青色または透明）」が貼られています。
- 「表面保護フィルム」は、製品のご使用前に必ず剥がしてください。（長期間たつと剥がれにくくなります）
- 製造過程で「表面保護フィルム」に治具跡（シワ等）が残る場合がありますが、製品には影響ありません。

組み立てに際して

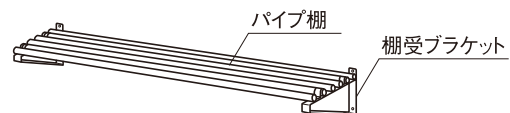
- 組立作業はできるだけ広くて平坦な場所で行ってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。

各部の名前

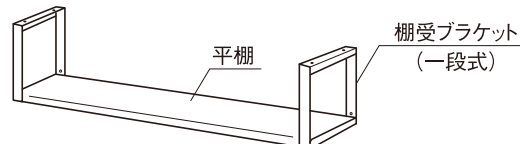
平棚・上吊り（図はF-12030）



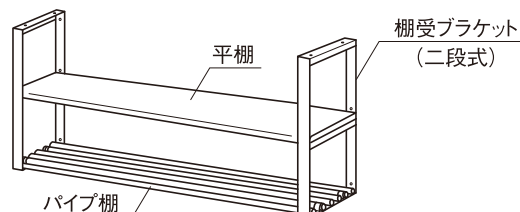
パイプ棚・下支え（図はP-12030）



吊下棚（図はJF-12030）



吊下棚（図はJFP-12030）



構成パーツと標準付属品

平棚 F型

棚	平棚	1
棚	平棚固定金具	棚押え4個・ボルト4本 ・平ワッシャ4個
	棚受ブラケット	左右1対

パイプ棚 P型

棚	パイプ棚（パイプ押え4個付）	1
棚	パイプ棚固定金具	ボルト8本 ・ナット8個
	棚受ブラケット	左右1対

吊下棚 JF型（平棚一段式）

棚	平棚	1
棚	平棚固定金具	棚押え4個・ボルト4本 ・平ワッシャ4個
	棚受ブラケット（一段式）	左右1対

吊下棚 JP型（パイプ棚一段式）

棚	パイプ棚（パイプ押え4個付）	1
棚	パイプ棚固定金具	ボルト8本 ・ナット8個
	棚受ブラケット（一段式）	左右1対

吊下棚 JFW型（平棚二段式）

棚	平棚	2
棚	平棚固定金具	棚押え4個・ボルト4本 ・平ワッシャ4個
	棚受ブラケット（二段式）	左右1対

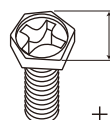
吊下棚 JPW型（パイプ棚二段式）

棚	パイプ棚（パイプ押え4個付）	2
棚	パイプ棚固定金具	ボルト8本 ・ナット8個
	棚受ブラケット（二段式）	左右1対

吊下棚 JFP型（平棚・パイプ棚式）

棚	平棚	1
棚	平棚固定金具	棚押え4個・ボルト4本 ・平ワッシャ4個
棚	パイプ棚（パイプ押え4個付）	1
棚	パイプ棚固定金具	ボルト8本 ・ナット8個
	棚受ブラケット（二段式）	左右1対

ボルト



平棚固定金具のボルトは8mm
パイプ棚固定金具のボルトは10mm

＋ドライバー、スパナのどちらでも使用できます。
状況に応じて使い分けてください。

平棚の組み立てかた（上吊り）

お願い

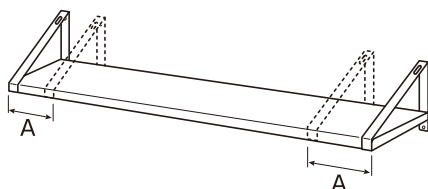
- 取付箇所は十分な取付強度を得られる、垂直で平滑な壁面を選んでください。
- 取付用ビスやボルトは取付箇所の状態に応じて、十分な取付強度を得られる物を選んでください。
- 取付方法に応じて、左右各2カ所の取付穴で確実に取り付けてください。
- 製品全体のねじれがないようにして、水平に取り付けてください。
- 「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※ 工事は必ずお買い上げ店または専門業者にご依頼ください。

平棚はアールが付いている方が完成時に手前側になるように組み立ててください。

1 棚受ブラケットの取付位置を決めます。

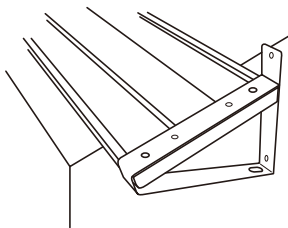
棚受ブラケットは上吊り・下支えのどちらでも使用できます。また、左用・右用の区別もありません。棚受ブラケットは下記の範囲内に取り付けてください。



間口 600mm・750mmの製品：A=150mm以内
間口 900mm～1200mmの製品：A=200mm以内
間口1500mm・1800mmの製品：A=300mm以内

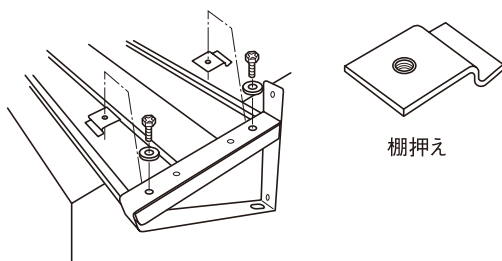
2 平棚を裏返しに置き、棚受ブラケットを取付位置にのせます。

棚幅より少しせまい台を使うと作業がしやすくなります。



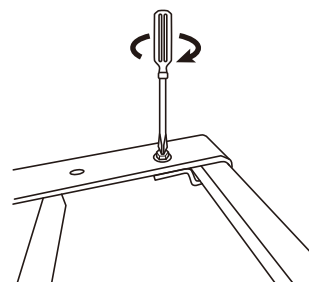
3 平棚固定金具で平棚を固定します。

“棚押え”を下図のように棚受ブラケットの裏側へ入れ、屈曲部で平棚の縁をはさむようにしてボルトを仮締めしてください。



4 ドライバーでボルトを締め付けます。

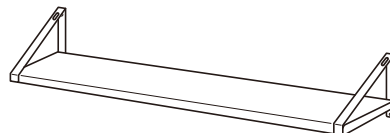
棚押えが、平棚の縁とぴったりと合っていることを確認して、ドライバーでボルトをしっかりと締め付けてください。



5 取り付け前に、各部の状態を点検します。

※ 製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく組み立てられているようにしてください。

※ すべてのボルト・ナットは十分に締め付けられているようにしてください。



平棚の組み立てかた（下支え）

お願い

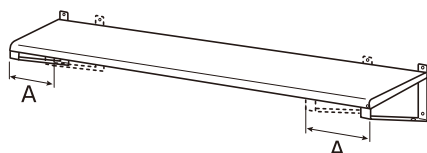
- 取付箇所は十分な取付強度を得られる、垂直で平滑な壁面を選んでください。
- 取付用ビスやボルトは取付箇所の状態に応じて、十分な取付強度を得られる物を選んでください。
- 取付方法に応じて、左右各2カ所の取付穴で確実に取り付けてください。
- 製品全体のねじれがないようにして、水平に取り付けてください。
- 「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※工事は必ずお買い上げ店または専門業者にご依頼ください。

平棚はアールが付いている方が完成時に手前側になるように組み立ててください。

1 棚受ブラケットの取付位置を決めます。

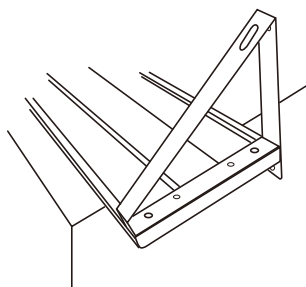
棚受ブラケットは上吊り・下支えのどちらでも使用できます。また、左用・右用の区別也没有ありません。棚受ブラケットは下記の範囲内に取り付けてください。



間口 600mm・750mmの製品：A=150mm以内
間口 900mm～1200mmの製品：A=200mm以内
間口1500mm・1800mmの製品：A=300mm以内

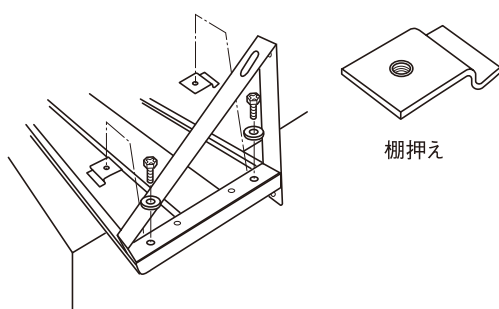
2 平棚を裏返しに置き、棚受ブラケットを取付位置にのせます。

棚幅より少しせまい台を使うと作業がしやすくなります。



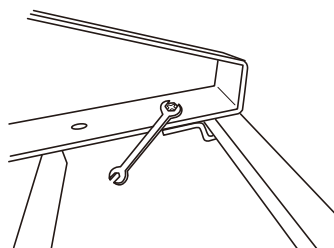
3 平棚固定金具で平棚を固定します。

“棚押え”を下図のように棚受ブラケットの裏側へ入れ、屈曲部で平棚の縁をはさむようにしてボルトを仮締めしてください。



4 スパナ(8mm用)でボルトを締め付けます。

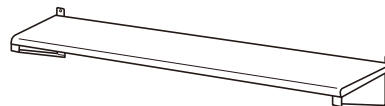
棚押えが、平棚の縁とぴったりと合っていることを確認して、スパナでボルトをしっかりと締め付けてください。



5 取り付け前に、各部の状態を点検します。

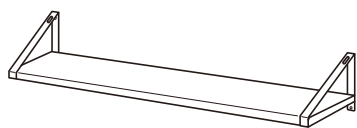
※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく組み立てられているようにしてください。

※すべてのボルト・ナットは十分に締め付けられているようにしてください。

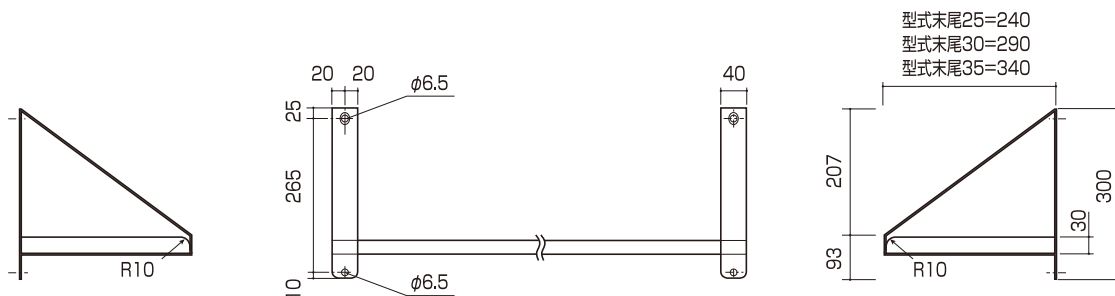


平棚の取り付けかた

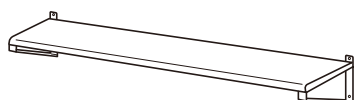
上吊り



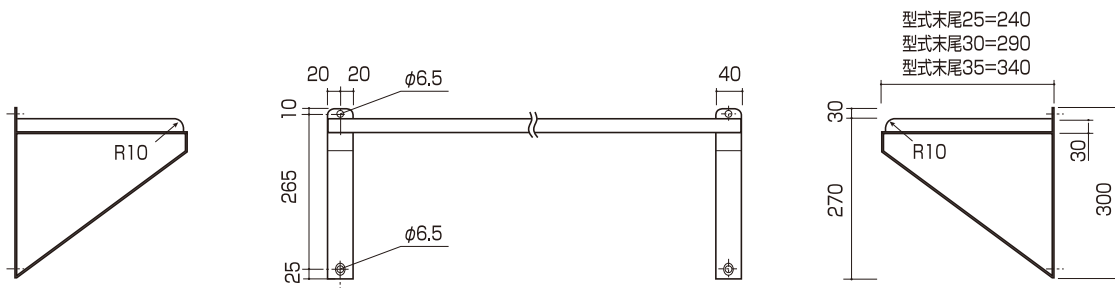
上吊りの場合は下記の要領で取り付けてください。



下支え



下支えの場合は下記の要領で取り付けてください。



確 認

最後に、各部の状態を確認します。

※取付強度が充分得られているようにしてください。

※すべての取付箇所は十分に締め付けられているようにしてください。

※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく取り付けられているようにしてください。

※「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。
放置するとサビの原因になります。

パイプ棚の組み立てかた（上吊り）

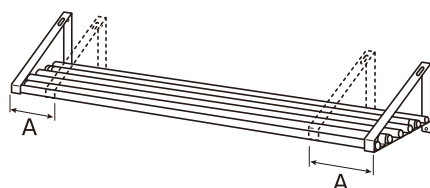
お願い

- 取付箇所は十分な取付強度を得られる、垂直で平滑な壁面を選んでください。
- 取付用ビスやボルトは取付箇所の状態に応じて、十分な取付強度を得られる物を選んでください。
- 取付方法に応じて、左右各2カ所の取付穴で確実に取り付けてください。
- 製品全体のねじれがないようにして、水平に取り付けてください。
- 「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※工事は必ずお買い上げ店または専門業者にご依頼ください。

1 棚受ブラケットの取付位置を決めます。

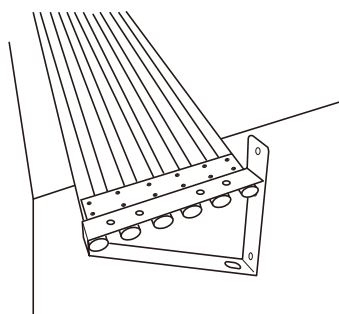
棚受ブラケットは上吊り・下支えのどちらでも使用できます。また、左用・右用の区別也没有ありません。棚受ブラケットは下記の範囲内に取り付けてください。



間口 600mm・750mmの製品：A=150mm以内
間口 900mm～1200mmの製品：A=200mm以内
間口1500mm・1800mmの製品：A=300mm以内

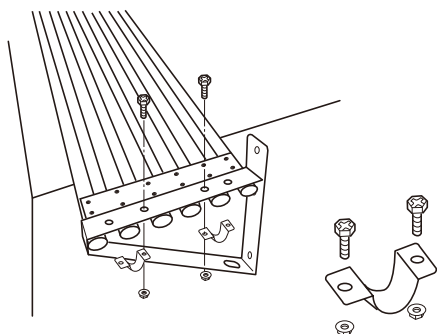
2 パイプ棚を裏返しに置き、棚受ブラケットを取付位置にのせます。

棚幅より少しせまい台を使うと作業がしやすくなります。



3 パイプ棚固定金具でパイプ棚を固定します。

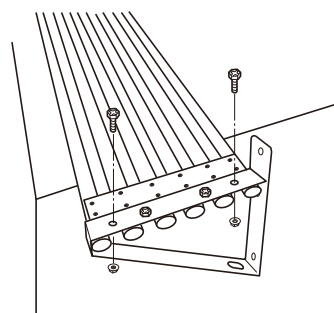
片方の穴から先に、ボルト・ナットを仮締めしてください。



パイプ棚固定金具

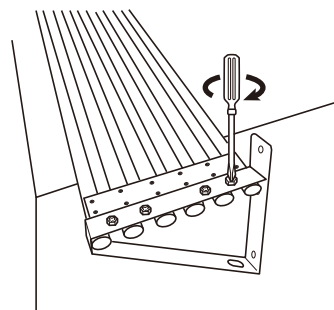
4 もう片方の穴もボルト・ナットで仮締めします。

正しく組み立てられていることを確認した後、棚受ブラケットが動かない程度に軽く締め付けてください。



5 ドライバーで各ボルトを締め付けます。

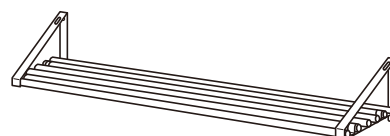
ナットをスパナ等で押えながら、しっかりと締め付けてください。



6 取り付け前に、各部の状態を点検します。

※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく組み立てられているようにしてください。

※すべてのボルト・ナットは十分に締め付けられているようにしてください。



※パイプ棚は必ず棚受ブラケットの上へのせた状態にして組み立ててください。



パイプ棚の組み立てかた（下支え）

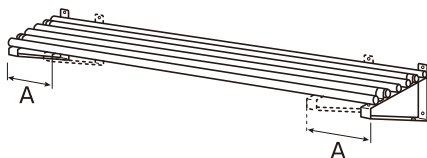
お願い

- 取付箇所は十分な取付強度を得られる、垂直で平滑な壁面を選んでください。
- 取付用ビスやボルトは取付箇所の状態に応じて、十分な取付強度を得られる物を選んでください。
- 取付方法に応じて、左右各2カ所の取付穴で確実に取り付けてください。
- 製品全体のねじれがないようにして、水平に取り付けてください。
- 「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※工事は必ずお買い上げ店または専門業者にご依頼ください。

1 棚受ブラケットの取付位置を決めます。

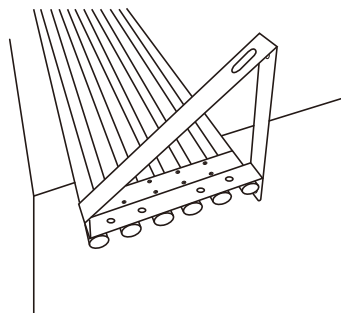
棚受ブラケットは上吊り・下支えのどちらでも使用できます。また、左用・右用の区別もありません。棚受ブラケットは下記の範囲内に取り付けてください。



間口 600mm・750mmの製品：A=150mm以内
間口 900mm～1200mmの製品：A=200mm以内
間口1500mm・1800mmの製品：A=300mm以内

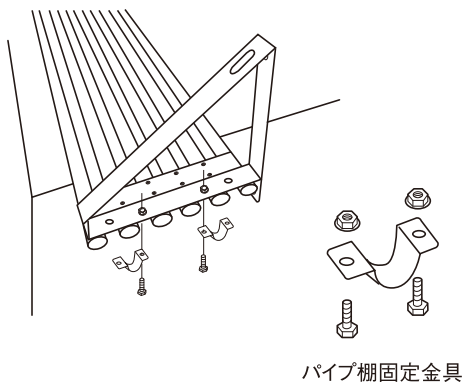
2 パイプ棚を裏返しに置き、棚受ブラケットを取付位置にのせます。

棚幅より少しせまい台を使うと作業がしやすくなります。



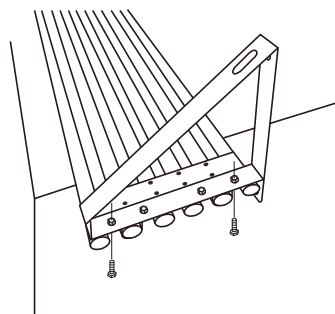
3 パイプ棚固定金具でパイプ棚を固定します。

片方の穴から先に、ボルト・ナットを仮締めしてください。



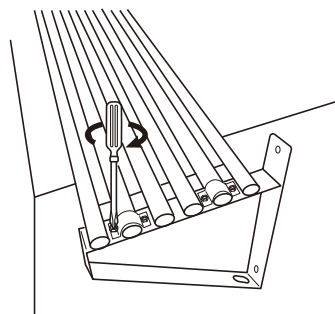
4 もう片方の穴もボルト・ナットで仮締めします。

正しく組み立てられていることを確認した後、棚受ブラケットが動かない程度に軽く締め付けてください。



5 棚を表向きに返し、ドライバーで各ボルトを締め付けます。

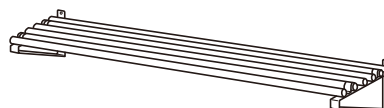
ナットをスパナ等で押えながら、しっかりと締め付けてください。



6 取り付け前に、各部の状態を点検します。

※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく組み立てられているようにしてください。

※すべてのボルト・ナットは十分に締め付けられているようにしてください。

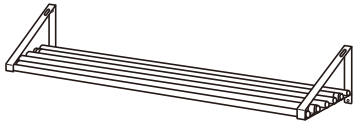


※パイプ棚は必ず棚受ブラケットの上のせた状態にして組み立ててください。

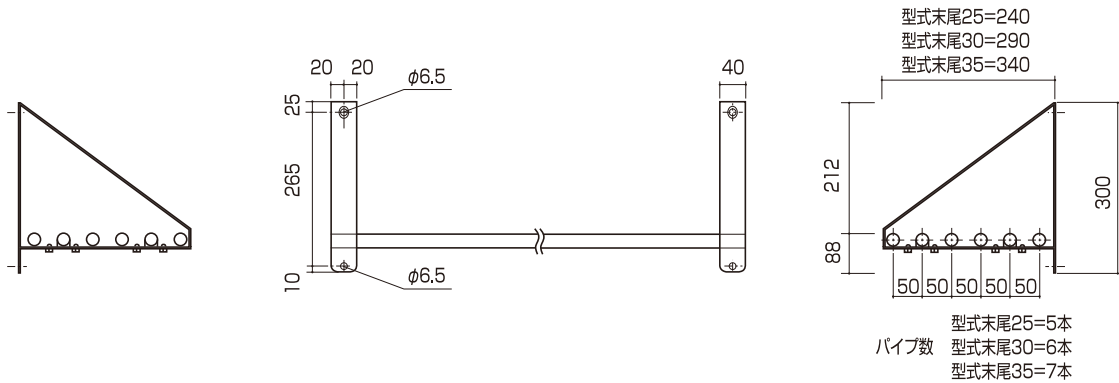


パイプ棚の取り付けかた

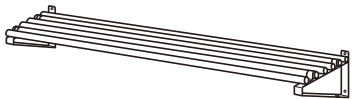
上吊り



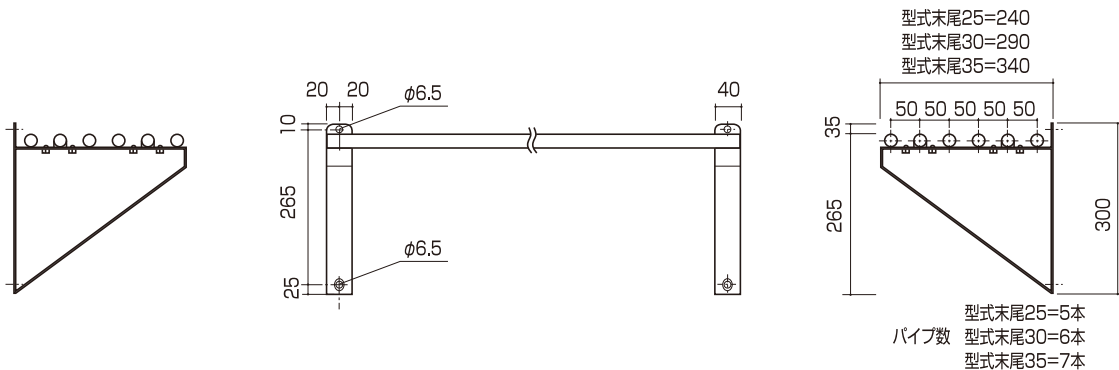
上吊りの場合は下記の要領で取り付けてください。



下支え



下支えの場合は下記の要領で取り付けてください。



確 認

最後に、各部の状態を確認します。

※取付強度が充分得られているようにしてください。

※すべての取付箇所は十分に締め付けられているようにしてください。

※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく取り付けられているようにしてください。

※「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。
放置するとサビの原因になります。

吊下棚の組み立てかた (平棚)

お願い

- 取付箇所は十分な取付強度を得られる、垂直で平滑な壁面を選んでください。
- 取付用ビスやボルトは取付箇所の状態に応じて、十分な取付強度を得られる物を選んでください。
- 取付方法に応じて、左右各2カ所の取付穴で確実に取り付けてください。
- 製品全体のねじれがないようにして、水平に取り付けてください。
- 「表面保護フィルム (青色または透明)」は、必ず剥がしてお使いください。

※ 工事は必ずお買い上げ店または専門業者にご依頼ください。

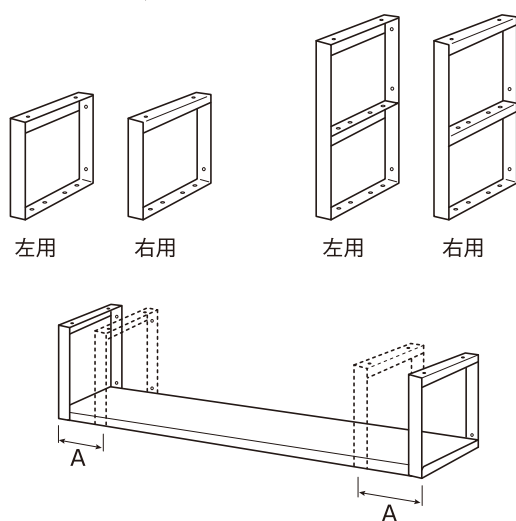
平棚はアールが付いている方が完成時に手前側になるように組み立ててください。

1 棚受ブラケットの取付位置を決めます。

棚受ブラケットには左用と右用があります。

棚受ブラケットは下記の範囲内に取り付けてください。

(二段式も同様です)

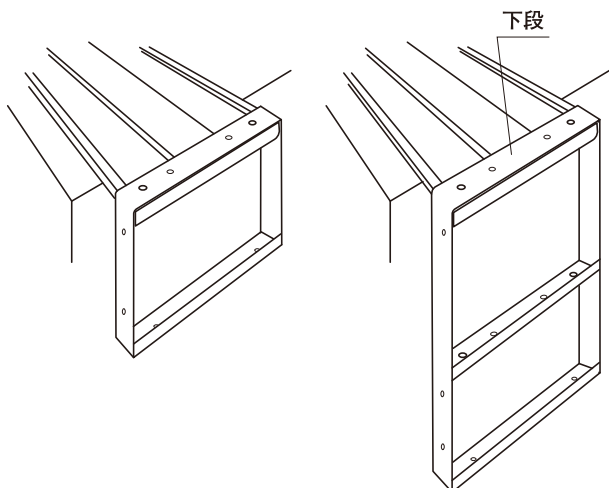


間口 600mm・750mmの製品：A=150mm以内
間口 900mm～1200mmの製品：A=200mm以内
間口1500mm・1800mmの製品：A=300mm以内

2 平棚を裏返しに置き、棚受ブラケットを取付位置にのせます。

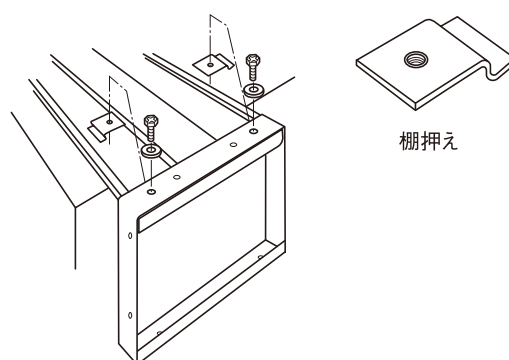
棚幅より少しせまい台を使うと作業がしやすくなります。

(二段式の場合は、下段の棚から先に取り付けてください)



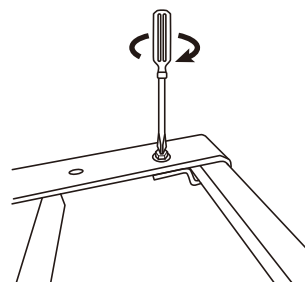
3 平棚固定金具で平棚を固定します。

“棚押え”を下図のように棚受ブラケットの裏側へ入れ、屈曲部で平棚の縁をはさむようにしてボルトを仮締めしてください。



4 ドライバーでボルトを締め付けます。

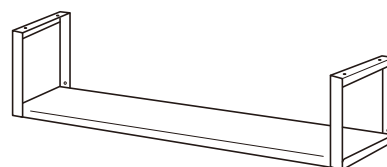
棚押えが、平棚の縁とぴったりと合っていることを確認して、ドライバーでボルトをしっかりと締め付けてください。



5 取り付け前に、各部の状態を点検します。

※ 製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく組み立てられているようにしてください。

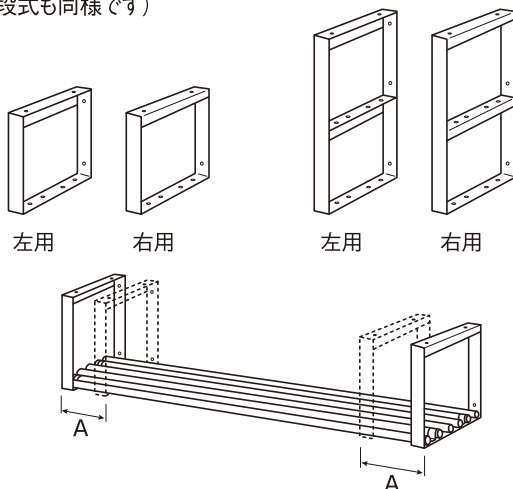
※ すべてのボルト・ナットは十分に締め付けられているようにしてください。



吊下棚の組み立てかた（パイプ棚）

1 棚受ブラケットの取付位置を決めます。

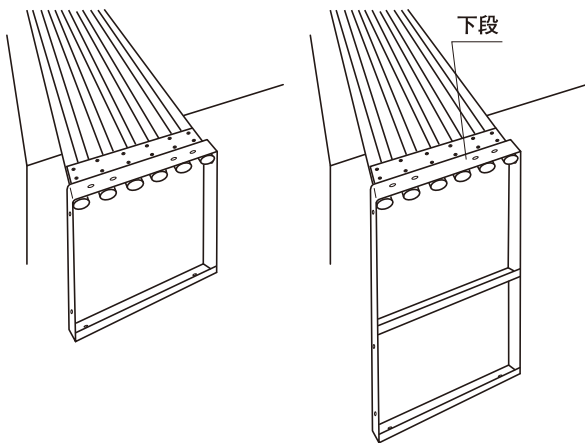
棚受ブラケットには左用と右用があります。
棚受ブラケットは下記の範囲内に取付けてください。
(二段式も同様です)



間口 600mm・750mmの製品：A=150mm以内
間口 900mm～1200mmの製品：A=200mm以内
間口1500mm・1800mmの製品：A=300mm以内

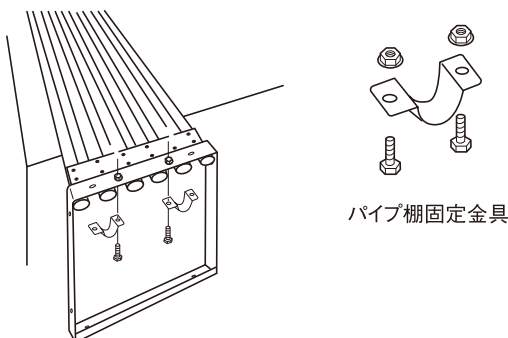
2 パイプ棚を裏返しに置き、棚受ブラケットを取付位置にのせます。

棚幅より少しせまい台を使うと作業がしやすくなります。
(二段式の場合は、下段の棚から先に取り付けてください)



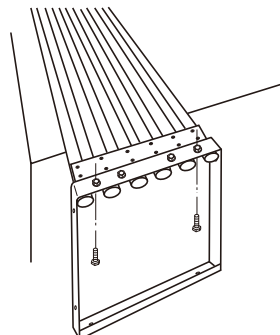
3 パイプ棚固定金具でパイプ棚を固定します。

片方の穴から先に、ボルト・ナットを仮締めしてください。



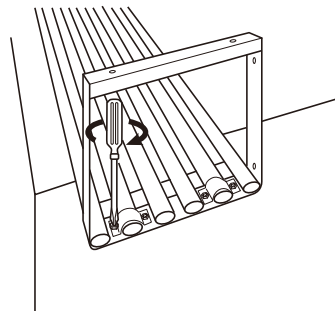
4 もう片方の穴も、ボルト・ナットで仮締めします。

正しく組み立てられていることを確認した後、棚受ブラケットが動かない程度に軽く締め付けてください。



5 棚を表向きに返し、ドライバーで各ボルトを締め付けます。

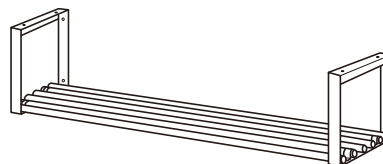
ナットをスパナ等で押えながら、しっかりと締め付けてください。



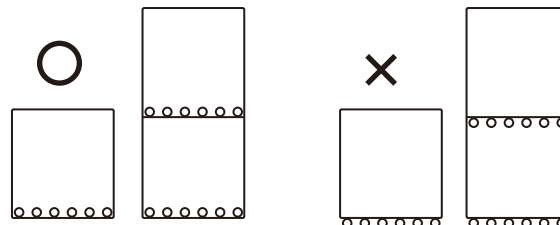
6 取り付け前に、各部の状態を点検します。

※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく組み立てられているようにしてください。

※すべてのボルト・ナットは十分に締め付けられているようにしてください。



※パイプ棚は必ず棚受ブラケットの上にのせた状態にして組み立ててください。



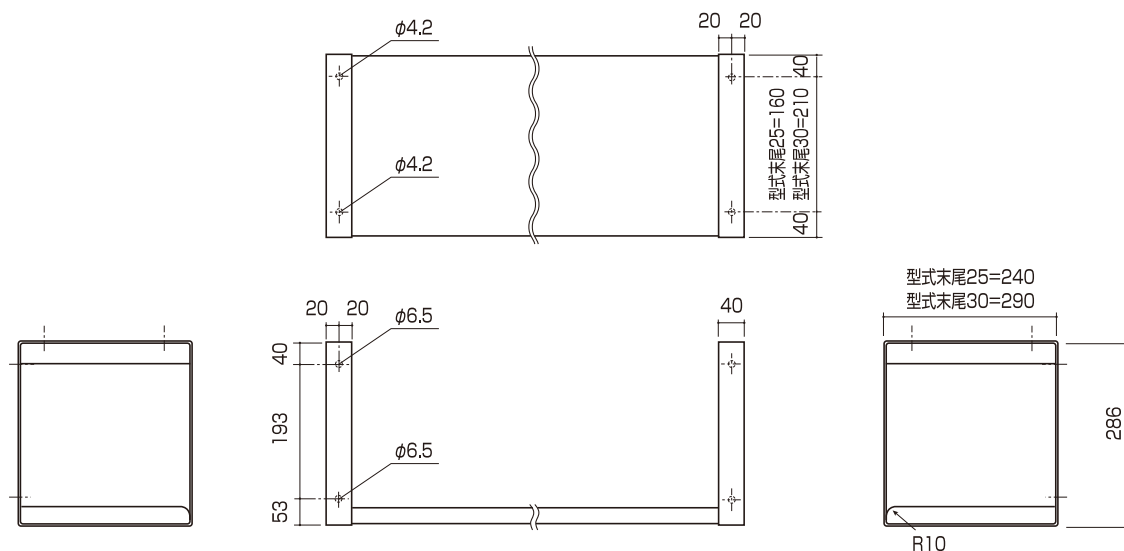
吊下棚の取り付けかた

お願い

- 吊下棚の棚受ブラケットには“左用”と“右用”があります。
取り付け時は間違えないようにご注意ください。
- すべての取付穴を使用して、確実に取り付けてください。

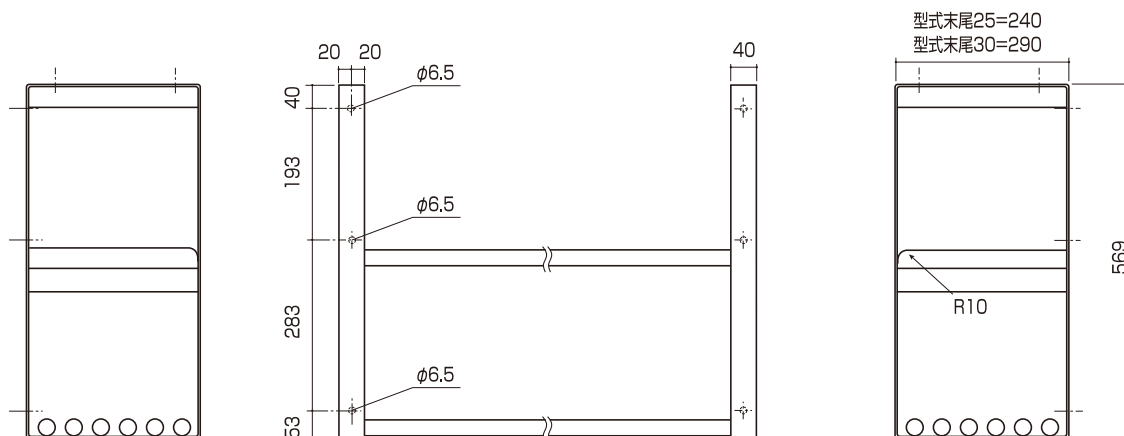
一段式

一段式（JF型／JP型）の場合は下記の要領で取り付けてください。



二段式

二段式（JFW型／JPW型／JFP型）の場合は下記の要領で取り付けてください。
（平面図は一段式と同じです。上図をご参照ください）



確認

最後に、各部の状態を確認します。

- ※取付強度が充分得られているようにしてください。
- ※すべての取付箇所は十分に締め付けられているようにしてください。
- ※製品全体にねじれがなく、各部の水平・垂直が正しく取り付けられているようにしてください。

※「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。
放置するとサビの原因になります。

耐荷重について

⚠ 注意



過積載禁止

● 棚に物を載せ過ぎないこと

耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。

※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含まれます。

※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。

※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。

※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

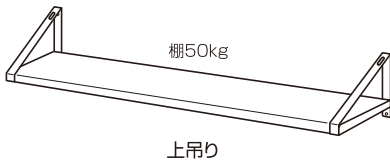
●太文字の数値は総耐荷重（製品全体の荷重量の上限）を示します。

●細文字の数値は部分耐荷重（特定部分の荷重量の上限）を示します。

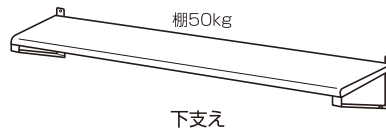
●部分耐荷重は“荷重量の合計が総耐荷重を超えない”事が条件です。

平 棚

総耐荷重 50kg



上吊り

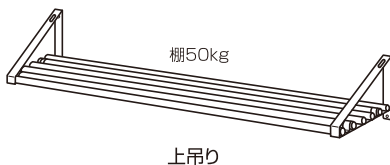


下支え

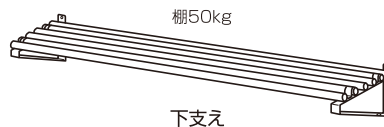
●棚の部分耐荷重は50kgです。

パイプ棚

総耐荷重 50kg



上吊り

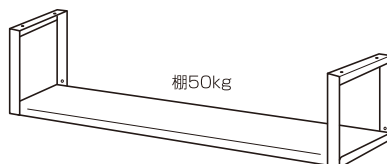


下支え

●棚の部分耐荷重は50kgです。

吊下棚(棚1段)

総耐荷重 50kg

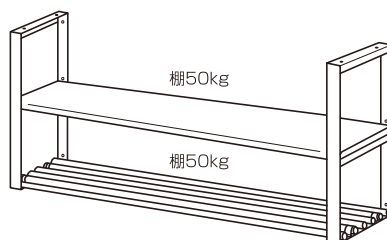


JF型・JP型(棚1段)

●棚の部分耐荷重は50kgです。

吊下棚(棚2段)

総耐荷重 80kg



JFW型・JPW型・JFP型(棚2段)

●棚1段あたりの部分耐荷重は50kgです。